

のびてんば 市議会だより

Letter From the Municipal Gotemba City Assembly

春

第101号

2019年4月24日発行



民生委員児童委員 × 市議会



■ 正副議長挨拶、各委員会委員紹介 ……	2	■ 議案の審議結果一覧 ……	10
■ 明治大学講義 ……	3	■ 本会議の審議状況 ……	11
■ 議会報告会(福祉文教委員会) ……	4	■ 委員会の審査状況 ……	12
■ 代表質問(5会派) ……	4～6	■ 行政視察報告・行政視察受け入れ ……	13
■ 一般質問(6人) ……	7～9	■ Q&Aコーナー、議長日記、6月定例会予定、編集後記 ……	14

視覚に障がいがある方のための、音声による「市議会だより」もあります。 問い合わせ / 図書館 ☎0550-82-0391

御殿場市議会 Gotemba City Assembly

<http://www.city.gotemba.shizuoka.jp/gikai/>

発行/御殿場市議会

編集/広報委員会 御殿場市萩原483 ☎0550-82-4323 ☎0550-82-4326



YouTube

平成31年3月定例会の
一部を録画中継します。

※インターネットへのアクセスが発生するため、
通信料がかかります。

平成31年御殿場市議会新体制

2月に役職等の改選があり、正副議長、各委員会の正副委員長が決まりました。

正副議長挨拶



議長

田代

耕一
(新政)

この度の臨時会において、議長に就任致しました。市民の皆様への負託に応えるよう、公正公平な議会運営に努めて参ります。

また、更なる議会改革を推進していく為、行政とも連携しながらスピード感を持って、情報発信の強化と市民の皆様が求めている意見を市政に反映できるよう、より開かれた議会を目指して参ります。

以上、議長就任のご挨拶とさせていただきます。



副議長

平松

忠司
(改新)

この度の臨時会において副議長に選任いただきました。今後は、田代議長を補佐し、公平公正で円滑な議会運営に努めて参ります。

昨年より議会として特別委員会を設置し、取り組んできました議会改革を更に進め、開かれた、また、時代の要請に応え得る強い議会の具現化を目指して参ります。

市民の皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

常任委員会

総務委員会(7人)

企画部、総務部、市民部、危機管理課、会計課、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会及び公平委員会に属する事項並びに他の常任委員会に属さない事項を所管します。

委員長 高橋 利典 (新政)
副委員長 高橋 靖銘 (新政)
委員 大窪 民主 (創成)
委員 杉山 章夫 (市民21)
委員 高木 理文 (無党派)
委員 勝間田博文 (公明党)
委員 勝間田幹也 (改新)

広報委員会(9人)

議会の広報に関する事項を所管します。

委員長 勝間田幹也 (改新)
副委員長 小林恵美子 (公明党)
委員 芹沢 修治 (市民21)
委員 土屋 光行 (市民21)
委員 長田 文明 (無党派)
委員 大窪 民主 (創成)
委員 高木 理文 (無党派)
委員 辻川 公子 (市民ネット)
委員 高橋 利典 (新政)

福祉文教委員会(7人)

健康福祉部及び教育委員会に属する事項を所管します。

委員長 黒澤佳壽子 (市民ネット)
副委員長 本多 丞次 (市民21)
委員 土屋 光行 (市民21)
委員 長田 文明 (無党派)
委員 田代 耕一 (新政)
委員 小林恵美子 (公明党)
委員 平松 忠司 (改新)

経済環境委員会(7人)

環境部、産業スポーツ部、都市建設部及び農業委員会に属する事項を所管します。

委員長 神野 義孝 (新政)
副委員長 杉山 護 (市民21)
委員 芹沢 修治 (市民21)
委員 稲葉 元也 (創成)
委員 辻川 公子 (市民ネット)
委員 勝亦 功 (改新)
委員 菅沼 芳徳 (改新)

予算決算委員会(21人)

予算及び決算に関する事項を所管します。

委員長 平松 忠司 (改新)
副委員長 小林恵美子 (公明党)
委員 ほか全議員

議会改革特別委員会(8人)

※ 常任委員会に属さない特定の事項(政治倫理条例、高校生議会、議会BCPに関すること)を所管します。

委員長 勝間田幹也 (改新)
副委員長 高橋 利典 (新政)
委員 大窪 民主 (創成)
委員 杉山 章夫 (市民21)
委員 辻川 公子 (市民ネット)
委員 田代 耕一 (新政)
委員 小林恵美子 (公明党)
委員 平松 忠司 (改新)

議会運営委員会(7人)

議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項及び議長の諮問に関する事項を所管します。

委員長 稲葉 元也 (創成)
副委員長 小林恵美子 (公明党)
委員 本多 丞次 (市民21)
委員 高橋 靖銘 (新政)
委員 杉山 章夫 (市民21)
委員 黒澤佳壽子 (市民ネット)
委員 菅沼 芳徳 (改新)

「御殿場市議会議員政治倫理条例」 制定に向け 明治大学による講義を受講

当市議会は、平成30年6月に設置された議会改革特別委員会を中心に「御殿場市議会議員政治倫理条例」の策定に向けて検討を進めています。

「御殿場市議会議員政治倫理条例」は、市議会議員が議員活動を行う際に守るべき行動基準を定めることで、人格や倫理の向上に努め、議員が市民から信頼される基盤を作り、公正で開かれた市政の発展に寄与することが目的です。

当市議会の提案による初めての条例制定を目指しており、明治大学の講義を受け、意見交換を行うことで、政治倫理条例の内容に関する理解向上、また、議員の政策立案能力の強化を図ります。

引き続き明治大学と連携し、条例制定を目指していきます。



平成31年3月29日

明治大学による講義受講



平成31年2月28日

福祉文教委員会

実施日：平成31年1月24日(木)

場所：御殿場市民会館 第5・6会議室
(第4会議室)

テーマ：「高齢者福祉について」

参加者数：36名

平成30年度の福祉文教委員会は、「高齢者福祉について」を年間テーマとし、大分県由布市、竹田市、また富士宮市の「認知症対策」について行政視察を行った。

この度の議会報告会は、御殿場市民生委員児童委員協議会高齢者部会の皆様を対象に視察内容の「認知症予防・ケア対策」について基調報告をさせていただき、その後4グループに分かれて「高齢化社会の現状と課題について」をテーマとして、ワークショップを開催し、意見交換をさせていただいた。

意見交換の内容としては、①民生委員の活動について②高齢者が困っていること③民生委員が困っていること④市(議会)に対して望むことを項目にあげ、それぞれのグループで活発に意見交換した。

主な意見提言としては、多くの高齢者が困っている「交通手段」についてバスターミニ利用助成事業の補助金



額の増額や利便性向上のための方策・地域内の狭い範囲での巡回バスがあれば便利といった意見が多かった。「認知症対策」としては、市の特定健康診断事業の中に「認知症診断」を盛り込んで欲しいという意見、高齢者のための居場所作りや集まれる場、機会を作って欲しいという意見、また居場所に対する補助金等の支援要望もあった。

また、行政や民生委員だけではきめ細かい心配りが不足してしまう。地域の中、近隣同士で安否確認し合う仕組みが必要であるが、自治会にも入らず、近所付き合いが希薄な人への対策を検討して欲しいという要望もあった。

その他、多くのご意見ご要望があったが、福祉文教委員会として、しっかりと受け止め、必要な対応には委員全員で積極的に取り組み、今後の議会活動に生かしていく考えである。

前福祉文教委員長 小林 恵美子

ここで紹介している質問・答弁は、質問議員の責任でそれぞれの内容を要約したものです。
詳しくは、5月下旬に市議会ホームページに掲載する会議録をご覧ください。

※市役所情報公開コーナーや市立図書館でも、同時期に閲覧できます。

代表質問

市民21代表質問



芹沢 修治
しげのり あらい

YouTube
代表質問
モバイルサイト
QRコード



「31年度市長施政方針」について

「施政方針」によると、県道新橋架設沢線の道路拡幅事業は駅から若宮交差点までの用地取得が概ね今年度で完了することから、今後は、若宮交差点から北側の用地取得を進めるとのこと。

問 現在の用地取得状況・取得方法について。

答 静岡県の取得面積ベースで約35%の事業用地取得。取得方法として、事業用地の買収及び物件補償、借家人補償を行っている。

問 軒田通りは全面解体撤去が目立つが、地権者等の残地利用の意向について。

答 市としても、より良い活用が行えるよう、地権者間の紹介や調整、開発事業の紹介を行う。

問 用地取得が先行されている軒田通りの道路整備着工時期について。

答 県より、2020年度の工事着手を考えているとの回答をいただいている。

問 富士山側商店街と箱根側の商店と連携して、市街地の賑わいを創出する取り組みについて市長の所見を。

答 行政として、駅周辺に多国籍語の案内板設置、ロッカー設置、インターネットの環境整備等を進めるが、駅周辺の店舗、商店会、観光協会などの地域の皆様の発案と行動が一番大事である。



新政代表質問



高橋 利典

YouTube
代表質問
モバイルサイト
QRコード

市長施政方針について

東京オリンピック・パラリンピックの開催等、当市が大きく飛躍する絶好の機会と捉え、この追い風を生かす市長のかじ取りに期待し質問する。

問 経済の活性化について中小企業振興推進会議による協議を通じ、地域のブランド化^{（※）}賑わいの創出等、中小企業の振興の具体的な方策について伺う。

答 推進会議は、既に3回開催し、企業に対する支援制度等情報を共有化したところである。具体的取り組みとして、企業ニーズを把握し、的確に事前の事業を検証するとともに、市内中小企業が発展していくための事業を検討していく。

問 観光振興施策について外国からの観光客のためのインバウンド推進事業を官民一体となつて推進するために、地域の独自性・個性の差別化等、観光ニーズの変化に対応する当市の観光施策について伺う。



答 外国人観光客の司令塔の静岡ツーリズムビューローの戦略的な誘客施策も取り入れ、観光情報の発信・インバウンドに対応できる人材の育成、ハード面ではJR御殿場駅箱根乙女口広場の完成等、将来を見据えた各種観光施策を展開する。

改新代表質問



菅沼 芳徳

YouTube
代表質問
モバイルサイト
QRコード

市長施政方針について

問 民間資本の活用による道の駅的な機能を持つ経済振興施設の整備について。

答 地場産品や観光資源など多くの魅力を来訪者に発信することで地域経済活性化の効果が期待でき、同時に大規模災害や大雪などの際に道路利用者の一時避難施設の役割も期待できる施設として、民間資本を活用して整備を進める。

具体的な候補地として、国道138号東名御殿場第2インターのそばに約3ヘクタールの施設整備を目指している。

問 AI（人工知能）を活用した事務の効率化について。

答 行政においても多方面でのAI導入が検討、導入されてきている。当市においても、保育所入所選考システムの導入など、AIやRPAの活用が見込まれる業務について検討するなど、事務の一層の効率化、正確化はもちろんのこと、市民サービスの一層の向上に寄与できるものと考え積極的に取り組む。

問 魅力ある施策アピールのための広報活動の具体的な方策について。

答 「真の子育て支援日本一のまち」や「エコ・ガーデンシティ構想の推進」など先進的な市の施策を市民の皆様にご理解いただくことが重要と考え、従来の広報紙の充実とともに同報無線、ホームページに加え、他市で取り組んでいる漫画を活用したPR手法など新たな広報ツールの研究を進める。



※RPA（ロボティックプロセスオートメーション）……ロボットによる業務自動化

創成代表質問



大窪 民主

YouTube
代表質問
モバイルサイト
QRコード



31年度市長施政方針について

問 「病院等産科医師対策事業」及び「養育支援訪問事業」について。

答 人口の維持増加を図る上で産科医師の担う役割は重要であり、その機能確保を図ることは市の重要課題であることから、医師の雇用に係る費用の一部を負担し、安定的な医師確保を図る事業である。

問 「地域医療の充実強化」について。

答 医師確保の奨学金制度の創設については、指導医の不足や多様な臨床経験を積むことが困難であることから、市独自としての制度の創設は難しいと考える。来年度からは県の事業として指導医の助成が行われることから、制度創設については検討を行う。

問 自転車競技ロードレースに関する「市民観戦イベント」大会「一年前イベント」の内容について。

答 市民観戦イベントは6月に開催される第88回全日本自転車競技選手権大会ロードレース大会において小学生等を対象とした見学会を開催する。

また、大会一年前イベントの具体的内容は検討中だが、この3月から4月にかけて大会500日前イベントとして、大河ドラマ「いだてん」と連携したイベント、子ども自転車教室、講演・体験会等を予定している。



公明党代表質問



小林 恵美子

YouTube
代表質問
モバイルサイト
QRコード



市長施政方針について

問 当初予算編成について、358億5千万円に至るまでの背景や経緯、今後の取り組みの方向性について伺う。

答 今回の予算編成では、先行して進めてきた大規模事業の目途が立ち、将来にわたって身の丈に合った予算規模とするために、企画部門と財政部門の連携をより緊密にし、事業実施の優先順位を見直し、また予算編成を前倒しする等、あらゆる角度からの取り組みにより、当初予算を編成することができた。今後も安定した財政運営に資するよう努めていきたい。

問 民間の力を生かした行政改革の取り組みについて伺う。

答 これまでも、民間活力を積極的に活用してきたが、更なる事務の効率化、事業の選択と集中、スクラップアンドビルドなどの考えのもと、産官学金の連携も含め、新たな手法、体制、サービス提供方法を取り入れる必要がある。幼稚園、保育園においても柔軟な発想をもつて民間活力導入を推進していく。

問 公共施設と総合管理計画の取り組みについて伺う。

答 「公共施設等管理計画」を基に「個別施設計画」策定を進めている。老朽化が進み、市民の皆様のご要望や優先順位の高い図書館については、郷土資料館を複合する施設として、整備基本構想の策定に着手するなど、いよいよ本格的に事業を進めていく。保健センターについても精査、検討を進める等、市民ニーズや優先順位等を総合的に判断し、安全・安心で最適な施設の整備・管理を行っていく。





神野義孝 議員
新政



YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

教育における児童虐待の現状と対応について

平成29年度の当市家庭児童相談室の児童虐待関連の相談等は、延べ666件であった。

子どもから教職員に相談があったり、虐待の疑いを感じ、児童相談所に通告したりした事案は、現在のところないが、学校などの児童虐待の発見、教職員等の学校などへの届け出、学校などの市・児童相談所への相談・通告のあり方が問われている。

問 当市の児童虐待の相談等の窓口の状況は。

答 市役所の家庭児童相談室で4名が相談に応じており、平成29年度は、児童虐待関連の支援が、延べ666件あった。

問 通報を受けた場合の対応は。



市役所の家庭児童相談室（東館1階）

答 相談員、担当職員が児童の安全確認を第一に行い、子どもからの聞き取り、保護者の面談、関係機関からの情報収集等、迅速な初期対応に努めている。緊急性が高い場合は、一時保護等必要な対応を協議する。

問 学校等の児童虐待相談・通告の状況は。

答 子どもから教職員に相談があったり、虐待の疑いを感じ、児童相談所に通告したりした事案は、現在のところない。

問 学校等の児童虐待の防止・対応の取り組み状況は。

答 専門の職員や支援員の活用、児童相談所等との定期的な協議会等の開催、健康診断等の機会を捉えた確認等を行っている。教職員が子どもの変化を見逃さない力をつけ、早期に適切な対応がとれるよう努めていく。



黒澤佳壽子 議員
市民ネット・なでしこ



YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

高齢者の日常生活における移動手段対策について

高齢者が住み慣れた地域で暮らすには移動手段の確保、充実が必須。高齢者も望んでいる。

問 地域公共交通の現状把握と分析について。

答 45のバス路線のうち20路線に補助。JR御殿場線は国府津方面の本数が少ない。5社によるタクシー、福祉車両もある。

問 高齢者の移動手段の現状の検証、評価について。

答 アンケート調査や地域公共交通協議会での検討の結果、高齢者等タクシー及びバス利用料金助成制度を開始。ニーズを満たす施策と捉えている。

問 免許返納後、うつ病になった。通院や買物に困る。交通手段がないため行事等に参加

できない等の声も多い。高齢者の要望や意見の把握分析は。

答 バス路線の少ない地域を対象に調査分析し、地域公共交通網形成計画を策定した。確保・改善等を図っていく。

問 高齢者のための交通対策の方向性について。

答 ユニバーサルデザインタクシー※導入助成事業に取り組む。※デマンド型バス・タクシーは本市に適さない交通形態と考えるが、今後も時代に合った取り組みを検証していく。

問 高齢者健やか事業助成券をバス・タクシー利用料金助成に使えることへの見解は。

答 当事業は社会参加・健康促進を図ることが目的なので、利用拡大は考えていない。今後、各々の事業の目的に照し合わせ事業の拡充を検討する。



※ユニバーサルデザインタクシー

……だれでも利用しやすいタクシー

※デマンド型

……利用者の要求に応じて運行する方式



いさお
勝亦功 議員
改新



YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

「御殿場市教育のあゆみ」発刊の意義を問う

平成が閉じようとしている今、教育委員会から「御殿場市教育のあゆみ」が刊行される。時代の区切りとして足跡を整理しておくことは時宜を得た企画であり高く評価する。活用策についてだす。

問 本書発刊の経緯・内容・企画の意義を問う。

答 前回の発行から40年が経過した。昭和時代末からの教育界の大変革、激動の時代の歴史を残すことにした。過去の教育の歩み、市民の思いに学び、現在の教育に生かし、確かな未来へと結びつけていく。

問 平成とはどのような時代か。

答 その時代に就任された5人の教育長は時代に流されず特筆すべき成果を挙げ、社会教育

では県内でも「西の掛川、東の御殿場」と謳われる有数の先進市となっている。

問 現教育長は本市教育をどのように受け止め、対処し、展望を持っているか。

答 本市は校区ごと地域独特の学校・地域の遺産が脈々と続く一方、北駿に象徴される教育文化圏の歴史もある。共通するのは「誠実・勤勉・やさしさ」だと思う。この風土を培う基盤は教育だと考え、学校給食へのアレルギー対応や子ども条例策定、幼保小中連携充実推進、教育フォーラムの実施、教育指導センター創設等に取り組んできた。教育の根幹に人間力、社会力を育成し「まっとうな大人に育てる」ことを強く意識し、社会総がかりで人づくりを推進したい。



まさひみ
高木理文 議員
無会派(日本共産党)



YouTube
一般質問
モバイルサイト
QRコード

自治体と自衛隊との「連携」について

問 当市は自衛官募集の協力業務として、日本国籍を持ち、その年に18歳になる住民の、住所・氏名・生年月日と性別を紙媒体で自衛隊に提供している。個人情報等の当事者が「中止請求」を行った場合は認められるのか。

答 市が条例に違反していれば請求できるが、個人情報保護条例には抵触せず、第一号法廷受諾事務として提供している。条例の規定に基づく行為なので中止請求は認められない。

問 基本的人権の柱のプライバシー権擁護や個人情報保護に反していないか。名簿の提出はやめるべきだ。見解を問う。

答 職員は法令、条例を遵守し、適正・厳格に事務を行っている。今後も名簿の提出は継続する。

問 新年度から市内駐屯地で市職員の危機管理研修が始まる。

る。自治体職員と、自衛隊では求められる資質は正反対である。この研修の押し付けはやめるべき。

答 市研修委員会で協議のうえ決めた危機管理センターの職能研修の一つ。必要な知識習得のため受講していただく。

学校給食無料化実現について

問 給食は子どもたちの食のセーフティネットの役割を果たしている。市長は施政方針で「給食費への補助」を実施すると表明したが、どの段階まで準備が進められているのか。

答 適切な給食費への改定が必要。子育て支援の一環として、結果、保護者の負担が下がるように給食費の一部を補助したい。



子どもたちの、食のセーフティネット

児童虐待及びDV(ドメスティック バイオレンス)について

虐待は生命危機の問題である。



問 児童虐待、婦人相談件数と通報受信時対応について。

答 平成30年末までで前年度を100件程度上回り1187件。婦人相談は延べ800件。その内DV相談は500件程。また、自らの通報件数は2事例、保護件数は4件。通報時は信憑性の有無にかかわらず出向いて安全確認を行い、場合によっては児童相談所、警察に連絡し、取り返しがつかない事態に至ることが絶対にならないよう努めている。

問 虐待やDVがなくなるような当市の取り組みについて。

答 虐待通報の意識向上のため「児童相談所全国共通ダイヤル189番」のポスター掲示、配付物、また相談窓口で周知してい

る。また、乳児家庭全戸訪問や子育て世代包括支援センター、発達支援センター等で相談業務を行っている。DV相談では被害者の意志に応じて必要な手続きや一時保護に繋げている。



当市の地域経済活性化について

問 地元企業の活用について。

答 公共工事入札は発注基準を見直して地元業者の更なる活用を図っている。指定管理においても地元業者の活用を促している。

問 プレミアム付商品券について。

答 低所得者や3歳未満の子どもの影響を緩和し、地域の消費喚起等の目的で販売を予定している。

市内の引きこもりやニートなど に対する就労支援について



問 「要就労支援者相談事業」の背景と取り組みを伺う。

答 相談者の自立のため、市内に千人いると推計される引きこもりやニート等、就労したくても様々な理由で就労活動ができない方に対する支援策として、新たに要就労支援者及びその保護者等を対象とした、相談から就労までの伴走支援を行う窓口を設置した。

問 本事業の課題と対策について伺う。

答 全国的に見ても先進的な取り組みのため、まだ試行という形だが、今後課題等をしっかりと検証して平成32年度に本格実施を目指す。

問 本事業の今後の見通しを市長に伺う。

答 家族の悩みを解決するとともに、就労につなげることににより、市内企業の即戦力として活躍できるようになり、社会的な貢献が非常に大きい。先進的な「御殿場モデル」として積極的に取り組みたい。



電話予約後の相談によりカウンセリングを行い、様々な支援につなげます

御殿場市の組織機構改革の評価について

問 平成29年度からの組織改編により、行政運営がどのように変わったか伺う。

答 新設した組織により新たな変化に対応ができ、推進力が増した行政運営、行政経営ができています。

問 庁内シンクタンクの設置を本市で考えているか伺う。

答 興味深いが、自治体シンクタンクの参考となる部分を取り入れながら充実に努めたい。

議案の審議結果一覧

平成31年 第1回臨時会 2月15日

【全会一致で可決等された議案】

(条 例) ・御殿場市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例制定について

平成31年 3月定例会 2月21日～3月25日

【全会一致で可決等された議案】

- (補正予算) ・平成30年度御殿場市一般会計補正予算(第4号)について
 ・平成30年度御殿場市救急医療センター特別会計補正予算(第2号)について
 ・平成30年度御殿場市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について
 ・平成30年度御殿場市介護保険特別会計補正予算(第2号)について
 ・平成30年度御殿場市公設浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)について
- (予 算) ・平成31年度御殿場市簡易水道特別会計予算について
 ・平成31年度御殿場市観光施設事業特別会計予算について
 ・平成31年度御殿場市救急医療センター特別会計予算について
 ・平成31年度御殿場市介護保険特別会計予算について
 ・平成31年度御殿場市公設浄化槽事業特別会計予算について
 ・平成31年度御殿場市上水道事業会計予算について
 ・平成31年度御殿場市工業用水道事業会計予算について
 ・平成31年度御殿場市公共下水道事業会計予算について
 ・平成31年度御殿場市農業集落排水事業会計予算について
- (条 例) ・御殿場市成年後見制度利用促進審議会設置条例制定について
 ・御殿場市御殿場駅箱根乙女口広場条例制定について
 ・御殿場小山広域都市計画御殿場駅箱根乙女口広場周辺地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例制定について
 ・御殿場小山広域都市計画御殿場駅東地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例及び御殿場市建築審議会条例の一部を改正する条例制定について
 ・御殿場市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
 ・御殿場市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について
 ・御殿場市農業委員会条例の一部を改正する条例制定について
 ・御殿場市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について
 ・学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
 ・御殿場市公共下水道事業及び農業集落排水事業の設置等に関する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
- (契 約) ・御殿場市立小中学校空調設備整備工事請負契約の締結について
- (そ の 他) ・静岡地方税滞納整理機構規約の変更について
 ・市道路線の認定について
- (人 事) ・御殿場市外1組合公平委員会委員の選任について
 ・御殿場市農業委員会委員の任命について
 ・人権擁護委員候補者の推薦について
 ・御殿場市教育委員会教育長の任命について
- (報 告) ・専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)

【本会議で賛否が分かれた議案等】 ○…賛成 ×…反対 ※議長(田代耕一)は採決に加わりません

議員名(議席順)	杉山 護	芹沢 修治	土屋 光行	本多 丞次	長田 文明	高橋 靖銘	大窪 民主	稲葉 元也	杉山 章夫	高木 理文	黒澤佳壽子	辻川 公子	神野 義孝	田代 耕一	小林恵美子	勝間田博文	勝間田幹也	菅沼 芳徳	勝亦 功	平松 忠司	高橋 利典
平成31年度御殿場市一般会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度御殿場市国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度御殿場市後期高齢者医療特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○

【予算決算委員会で賛否が分かれた議案等】 ○…賛成 ×…反対 ※委員長(平松忠司)は採決に加わりません

議員名(議席順)	杉山 護	芹沢 修治	土屋 光行	本多 丞次	長田 文明	高橋 靖銘	大窪 民主	稲葉 元也	杉山 章夫	高木 理文	黒澤佳壽子	辻川 公子	神野 義孝	田代 耕一	小林恵美子	勝間田博文	勝間田幹也	菅沼 芳徳	勝亦 功	平松 忠司	高橋 利典
平成31年度御殿場市一般会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
平成31年度御殿場市国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○

本会議で行われた議案審議の中から、主なものを掲載します。

平成31年度御殿場市一般会計予算について

問 防犯カメラ設置において、個人のプライバシー保護などへの対応策と、市内の設置状況は。

答 地域の犯罪抑止のための防犯カメラ設置補助金を1台あたり上限5万円で区に交付する事業であり、プライバシー保護基準などの運用における配慮が必要な事項をガイドラインで示す。

市内には、市が施設管理用に設置したものや商店街が設置したものが合わせて277台ある。

問 発達相談センターの開所予定や事業内容は。

答 開所は6月を予定しており、発達相談、幼稚園・保育園・小中学校の巡回訪問、療育教室の事業を行う。今まで、ふじざくら内の子ども家庭センターで発達相談を行っていたものを、フジ虎ノ門整形外科病院の一面を借りて発達相談センターとして、独立した事業とする。

問 地域猫活動事業の120万円増額の背景は。ふるさと納税のクラウドファンディングを活用した今後の展開は。

答 地域猫活動事業は平成28年度より行っており、地域猫ボランティア団体へ活動費の一部を補助し、211匹の猫に不妊去勢手術を行った。地域の猫として管理しており、糞尿被害や鳴き声によるトラブルが減ったとの報告も受けている。

平成30年度、クラウドファンディングによって多くの寄付とメッセージをいただき、多くの区で利用していただくために増額した。現在は東田中・清水・富士見原・北畑の4区で行っているが、多くの区で実施してもらうため、13区分の予算を計上した。

問 建築物等地震対策事業について、市内で対象となる住宅はどの程度残されているか。また、今後の見通しは。

答 この事業は、昭和56年5月末以前の旧耐震基準の木造住宅を対象とし、専門家が無料で耐震診断を行う。平成25年統計時点で6550戸が該当し、約5500戸で補強が必要と推測される。

国や県でも平成32年度まで継続

することが決定しているもので、市でも引き続き継続する。

問 図書館等整備基本構想の策定方法は。

答 庁内検討委員会での検討をもとに、今後、市民の代表や有識者を含めた懇話会で検討を重ね、専門のコンサルタントに業務を委託する。多くの市民の意見を参考にするためアンケート・SNSを積極的に活用する。

問 学校給食センター施設改修事業の内容は。

答 西学校給食センターは平成2年の建て替え、高根学校給食センターは平成7年の新設である。共に施設設備の老朽化に伴い、西学校給食センターは改築に向けPFI整備手法の導入可能性調査の業務委託、高根学校給食センターは、野菜冷蔵庫や冷却器などの調理機器の更新や床などの設備修繕を予定している。



平成31年度御殿場市介護保険特別会計予算について

問 当市における訪問型サービス事業、通所型サービス事業、一般介護予防事業の現状と課題は。

答 訪問型・通所型は、要支援と認定された方に対する事業であり、平成30年に予防給付から本格移行された。基準、単価を緩和したサービスを提供する事業所が現在は訪問・通所それぞれ7事業所と少なく、確保が課題である。一般介護予防事業は、介護予防のための各種教室開催が主なものであり、新規の参加者を優先している。参加者が教室修了後に運動を継続できる場の構築が課題である。



各委員会で行われた審査の中から、主な質疑の内容をお知らせします。

予算決算委員会

総務分科会

平成31年度御殿場市一般会計予算について

問 滞納繰越分の圧縮方針、取り組み内容は。

答 滞納整理、滞納処分^{しんちゅう}の進捗と、納税推進室設置後は圧縮が順調に進んでいる。

問 防災マップの作成及び配布計画は。

答 平成31年度から3か年計画で更新し、順次全世帯へ配布予定。

平成31年度御殿場市国民健康保険特別会計予算について

問 その他一般会計繰入金の記載がなくなっている。

答 市の裁量で継続してもペナルティーはないが、国や県の方針をふまえ、被保険者の負担が急激に増加しないよう、可能な限り法定外繰入金に頼らない自立した財政運営を図りたい。

問 特定健康診査・特定保健指導事業が減額された背景は。

答 被保険者の減少傾向や過年度実績などから、受診見込み人数を見直した。

福祉文教分科会

平成31年度御殿場市一般会計予算について

問 教育委員会が行う教育指導センター事業の内容は。

答 元学校長等が指導経験を伝えることで、若手教員の授業の進め方など、スキルアップを目指す取り組みが行われている。

問 高齢者等タクシー・バス利用料金助成事業の利用見込みは。

答 高齢者の移動支援は重要な課題であり、利用申請数は年度を追う毎に伸びている。

平成31年度御殿場市介護保険特別会計予算について

問 国が唱える、施設から住み慣れた住宅への考え。この影響と効果は。

答 介護予防段階から早期にサービス利用が進むことで、重度化防止への効果を期待している。

問 在宅医療・介護連携推進事業の内容は。

答 医療職・介護職の顔が見える関係構築を目的とした研修会、市民向けシンポジウム、医師を支える仕組み作りの3項目を在宅医療・介護連携推進協議会を中心として取り組む。

経済環境分科会

平成31年度御殿場市一般会計予算について

問 東京五輪に向けた予算措置は。

答 オリンピック・パラリンピック推進協議会交付金の中で、保存版の自転車競技ガイドの作成、特設ホームページの開設、テストイベントに向けた影響調査等の実施を考えている。

問 地域猫活動事業について、猫の行動範囲の特性を生かした対応策は。

答 近隣の区が協力して取り組むことが効果的であり、来年度は希望する複数の区が連携して活動できないか協議している段階である。

平成31年度御殿場市公共下水道事業会計予算について

問 企業債償還金の状況は。

答 浄化センターや第1中継ポンプ場等の大規模改修が一段落したことから、徐々に減少している。下水道債は、償還計画に基づき償還しているが、今後も整備や更新等の計画があるため、有効に利用していきたい。

経済環境委員会

御殿場市御殿場駅箱根乙女口広場条例制定について

問 市民に対する広場の利用方法の周知は。

答 広場内はバス・タクシーを除き駐車禁止区域となるため、駐車禁止看板を設置するだけでなく、広報紙や同報無線で周知を図っていく。

問 広場ではイベントを開催できるか。

答 市が実施または後援して行う事業で、通行の妨げにならない場所と規模であれば可能な場合もある。計画がある場合は事前に市に相談してもらい、内容を検討した上で判断する。

総務委員会

1月22日～23日

埼玉県久喜市

「シティプロモーション推進指針」

この事業は、誰もが「行ってみよう」「住んでみたい」「住んでよかった」「ずっと住み続けたい」と実感できるまちを目指してプロモーションを推進し、取り組んでいる。

その中でも久喜市PRビデオの取り組みは多くの市民が参加し、各種イベントでの披露により、市民への一体感が生まれ、市外に対しても久喜市のアピールに繋がっている。

当市においても既成概念にとらわれることなく柔軟な新しい感性をもつてシティプロモーションに取り組んでいくべきと感じた。

埼玉県春日部市

「かすかべ未来研究所」

自治体を取り巻く環境の変化に伴い、先進的な自治体として発展していくために、※庁内シンクタンクとして「かすかべ未来研究所」を設置した。調査研究者は関係課職員や公募により構成している。

設置して7年、多くのテーマに取り組み、各担当から新規事業の検討の際、データ提供など機能を十分に発揮していた。様々な情報や研究成果を蓄積することで、政策の「最適化」に繋がっている。



※庁内シンクタンク……庁内の職員等が、特定のテーマに沿って調査分析をし、結果を提言発信すること。

当市においても多様化・高度化する市民のニーズにバランスよく、かつ的確に対応するためには、庁内シンクタンクの設置は政策実現のため有効手段の一つであると感じた。

前総務委員長 高橋 靖銘

行政視察受け入れ

各市町の議員が視察に訪れ、当市の施策・事業や施設等を視察されました。

平成30年
11月7日
京都府八幡市議会
(都市環境常任委員会)

・インターチェンジ周辺の土地利用構想について

平成30年
11月7日
長崎県五島市議会
(会派 創政自民党)

・移住、定住促進事業への取り組みについて

平成30年
11月12日
静岡県沼津市議会
(政策研究議員連盟)

・教育現場のICT化について

平成30年
11月12日
兵庫県稲美町議会
(会派 新生 町民クラブ)

・御殿場市におけるスポーツツーリズムの取り組みについて

・市街化調整区域の宅地開発許可について

平成30年
12月21日
静岡県裾野市議会
(会派 未来すその)

・議会ICT化について
・議会傍聴託児サービスについて

平成31年
2月4日
三重県松阪市議会
(会派 市民クラブ)

・スポーツツーリズムの取り組みについて



議長日記

シリーズ
第23回

●今回のテーマ 「議員発議の条例制定とは？」

議会の役割には、住民を代表して、予算・決算審査、条例の制定や改廃、市の契約等の審議があります。これに加え、法律の範囲内で、議会に関する条例や地域の実情に沿った条例を議員発議により提出し、制定することができます。

現在、当市議会では初めての議員発議による条例制定に

※5月10日(金)までパブリックコメントを実施していますので、ご意見をお待ちしています。詳細は御殿場市議会ホームページをご覧ください。



開かれた議会を目指し、議会として初めて新旧議長の記者会見を行いました。これからの議会の状況をより多くの市民の皆様へ丁寧に伝えていきます。また、メディアを活用し、多くの方の目に触れることで、議会への関心を持つていただき、議会の活性化につなげたいと思います。これからも、議会をより身近に感じていただけるよう議会改革を進めて参ります。



6月 定例会の予定

6月定例会は6月6日から19日までの14日間の予定です。時間はいずれも午前10時からです。

19(水)	18(火)	14(金)	6(木)
一般質問	一般質問	一般質問	提案理由説明補正予算 条例等審議

※ 正式な会期日程は直前の議会運営委員会で決定されます。
詳しくは御殿場市議会事務局へお問い合わせください(市議会ホームページにも掲載しています)。
※ いずれの日も傍聴することができます。
当日、市役所庁舎東館3階の議会事務局で受け付けをしますので、お気軽にお越しください。



編集後記

議会だよりも101号となり、広報委員会のメンバーも新しく任命され、心機一転委員会活動に取り組んでいく所存です。

今期、議会改革特別委員会を立ち上げ、開かれた議会を目指し議会改革を推進しています。6月定例会から、より多くの子育て世代に市議会を傍聴して頂けるよう環境を整備し、乳幼児を預かる「託児サービス」を実施します。

これからも一歩一歩議会改革を進めていければと思います。それらの取り組みを皆さんにお伝えする『広報』の充実と、市民の皆さんの声も取り入れられるよう『広聴』にも力を入れて参ります。お気付きの点などがあればご意見ご要望をお寄せください。

広報委員長 勝間田 幹也

御殿場市議会広報委員会

委員長 勝間田 幹也
副委員長 田中 恵子
委員 小川 修治
委員 林 光文
委員 土屋 文明
委員 長 窪木 文子
委員 小川 公典
委員 高木 利典

ご意見ご質問は議会事務局へ

〒412-8601 御殿場市萩原 483

Tel.0550-82-4323

Fax.0550-82-4326

御殿場市議会

検索

市議会だよりには再生紙を使用しています。印刷/(株)御殿場印刷所

